

天皇陛下御在位二十年

去る一月七日は昭和天皇の二十年祭、そして今上天皇のご在位満二十年を迎えました。

昨年十二月十九日、民間団体の奉祝委員会と奉祝国会議員連盟主催のご在位二十年奉祝式典が行われ、本年十一月十二日（ご即位大札当日）には政府主催で奉祝式典が行われることになっています。国民こそって奉祝の誠を捧げるとともに、国家国民の将来を展望していきたい次第です。

曾我蕭白「楼閣山水図」

複製完成

近江神宮御創建当初、江戸時代中期の異端の画人といわれる曾我蕭白の作品「楼閣山水図屏風」（「月夜山水図」とも）が伊庭家より奉納され、所蔵しています。平成四年より重要文化財に指定されており、保管上の安全を図るため、滋賀県立琵琶湖文化館に寄託しています。

曾我蕭白は、江戸時代中期に京都・伊勢を中心に活躍し、中国の故事などの伝統的な画題を扱いながら、型破りで破



右 左
上 右
下 左

がありませんでした。近江神宮七十年祭記念事業として進められている博物館改修を前にして、ちょうど渡りに舟のようなことになり本正月には特別展示させていただきました。

右隻に春の西湖、左隻に秋の金山寺を描き、宋時代の詩人・蘇東坡ゆかりの画題で雪舟流の画人が好んで描いたとのこと。本物と見紛うばかりの高精細な画像で、博物館改修・宝物館開設後には寄託中のオリジナルにかえて常設展示する計画で準備しています。

（なお、写真の左右の下端の緑色は生け花の一部が写り込んでいるもの）

近江神宮例祭 四月二十日

近江神宮の例祭は四月二十日、宮中より天皇陛下の御名代の勅使をお迎えして行われます。近江神宮は例祭に宮中より勅使の差遣を賜わる神社十六社（伊勢の神宮を除く）の一つです。

四月二十日は天智天皇が近江大津宮に遷都された記念日であり、今をさかのぼる千三百四十余年の昔、『日本書紀』に「三月辛酉朔己卯」とある、天智天皇六年（西暦六六七



年）三月十九日の遷都の日を太陽暦に直すと四月二十日になるので、その日を例祭日として定められました。毎月二十日に月次祭が行われているのもこれに因んでいます。昭和天皇は、占領軍から神道指令が出される直前の昭和二十年十

二月に近江神宮を勅祭社として治定されました。翌二十一年より毎年例祭日には宮中からの御幣物を捧持した勅使をお迎えして祭儀が行われ、勅使の御祭文が奏上されます。

例祭後の最初の日曜日には、地元学区の小学生らによる子供神輿が参集して近江まつりが賑々しく行われ、陽春の最盛期を彩ります。



野外現代いけばな展の過去作品より

春から初夏の祭典・行事

三月十七日	午前十一時	祈年祭
四月二十日	午前十時	例祭 勅使参向
四月二十六日	午後二時	近江まつり子供みこし渡御
五月二日〜六日		野外現代いけばな展 (NPO いけばなワークス主催)
五月十七日	午前十一時	崇福寺鎮魂供養祭(崇福寺跡にて)
六月九日	午前十時	献茶祭
六月十日	午前十一時	漏刻祭
六月二十八日	午前十一時	献菓献煎茶祭
六月三十日	午前十一時	日供神饌講社大祭 饗宴祭
六月三十日	午後四時	大祓式